

経営比較分析表（平成30年度決算）

兵庫県北播磨総合医療センター企業団 北播磨総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透I訓ガ	救臨地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
-	38,109	非該当	7:1	

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
450	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	450
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
440	-	440

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【】	平成30年度全国平均

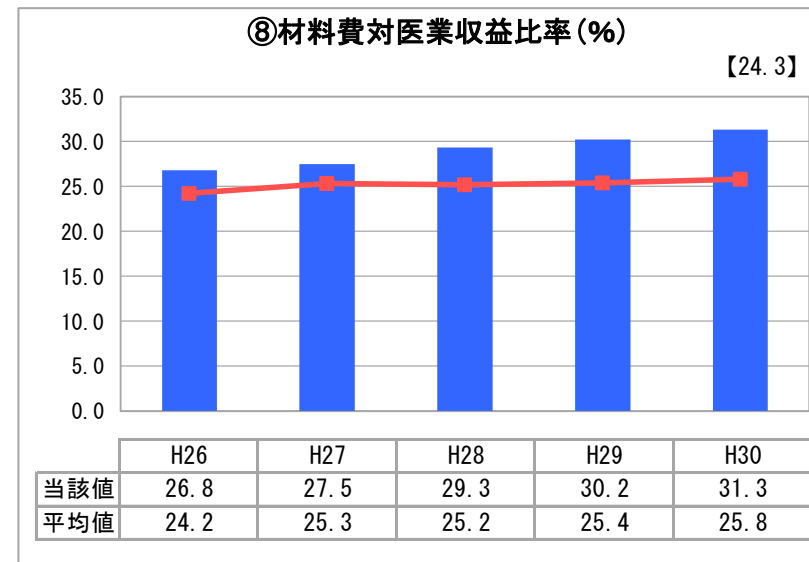
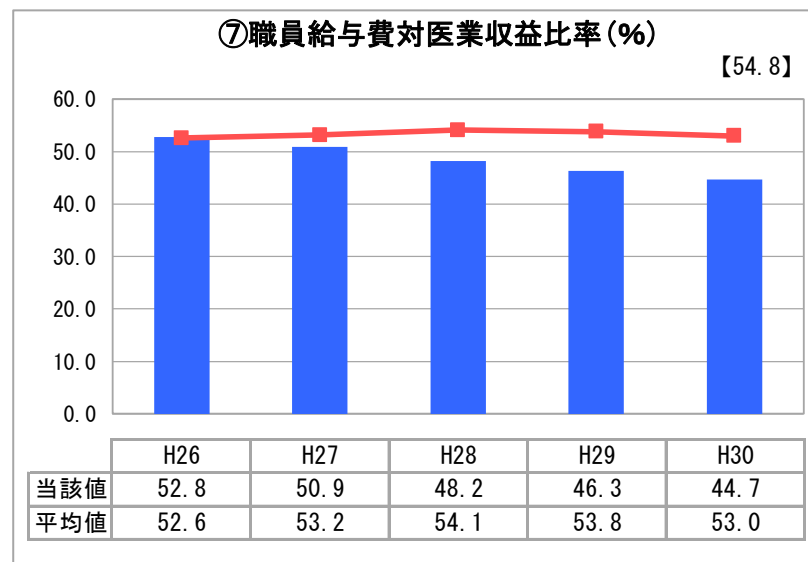
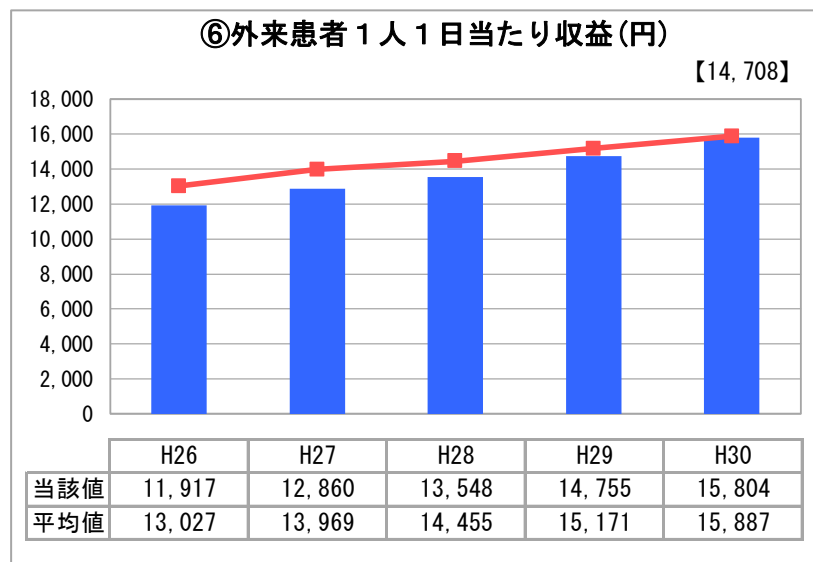
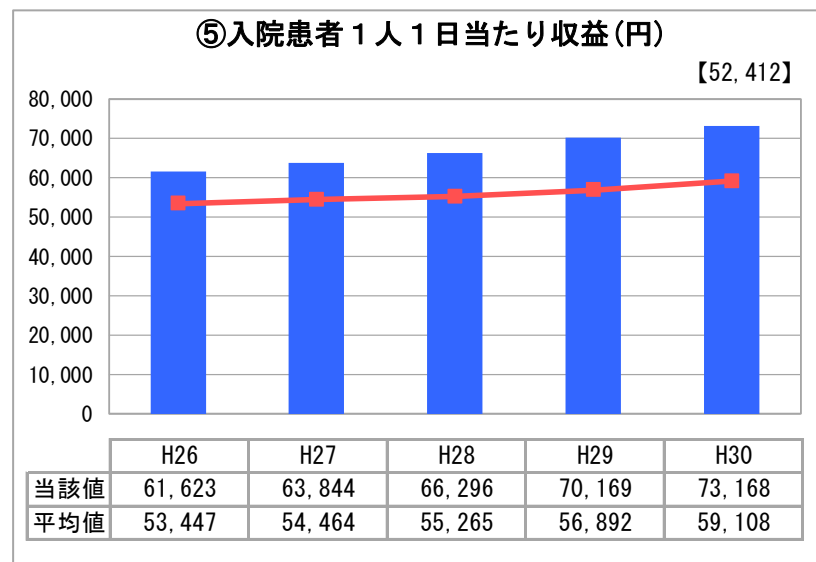
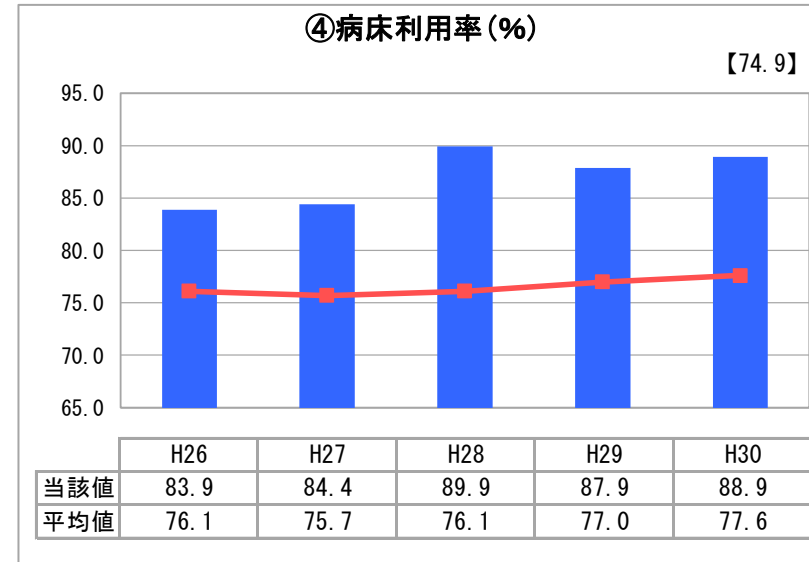
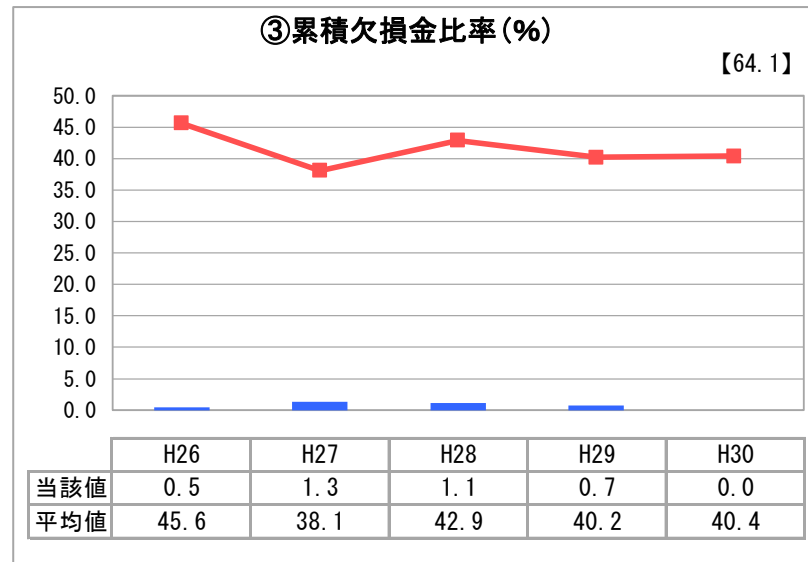
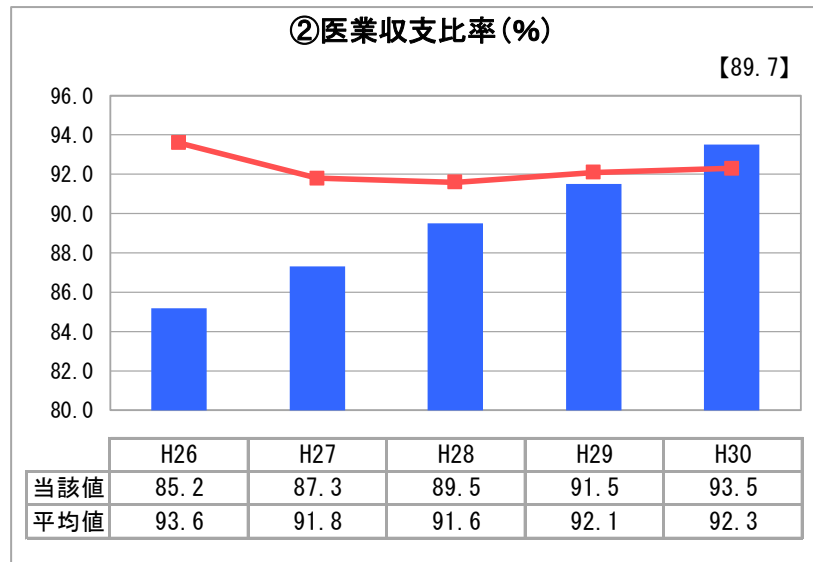
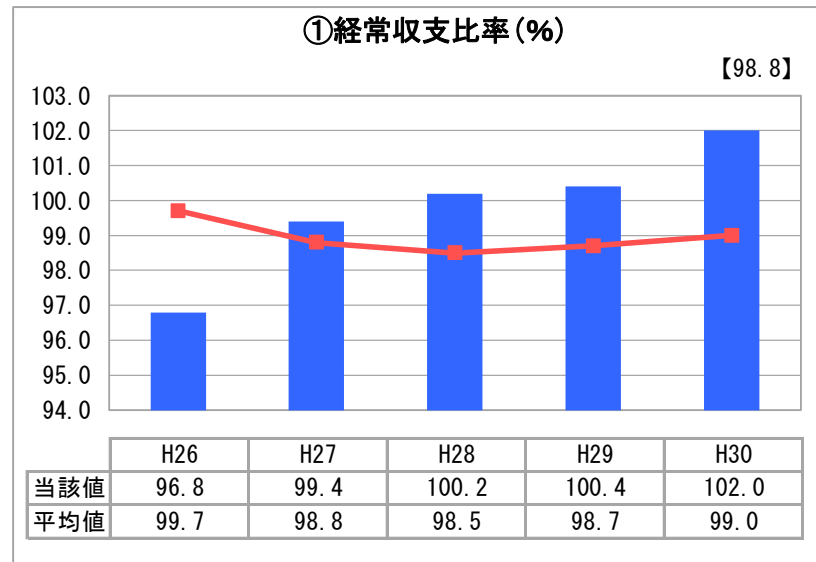
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

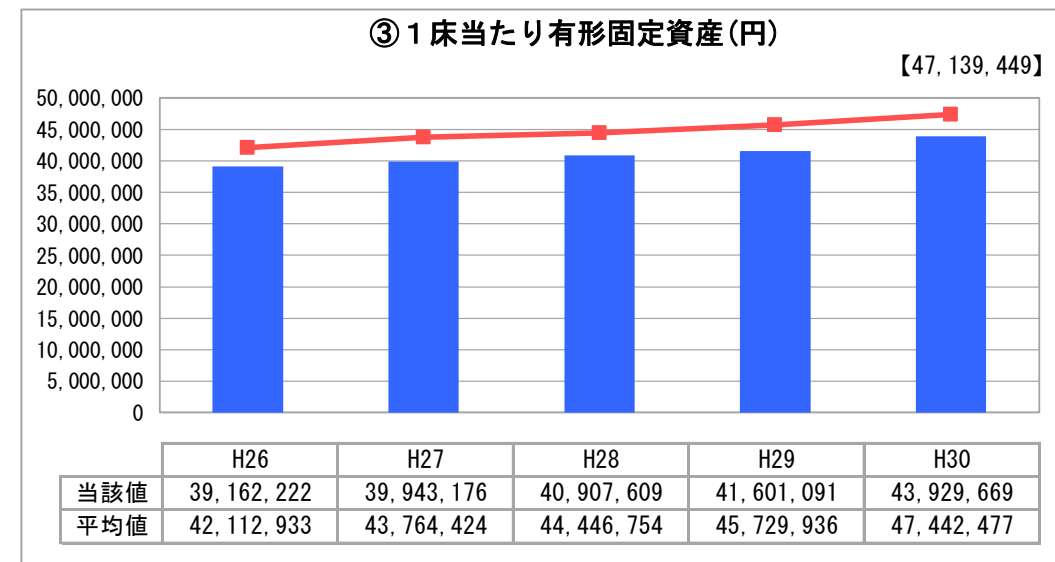
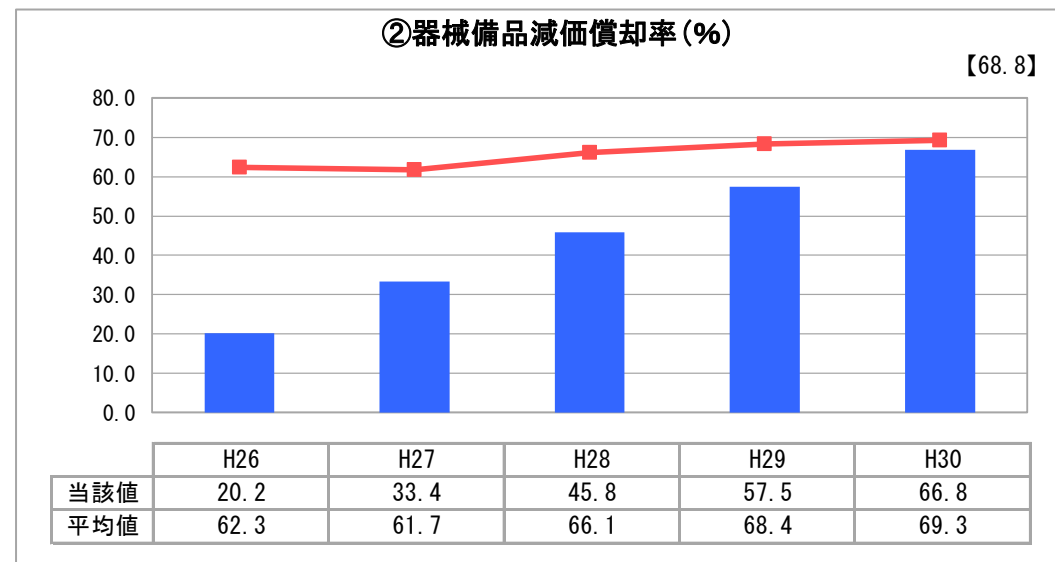
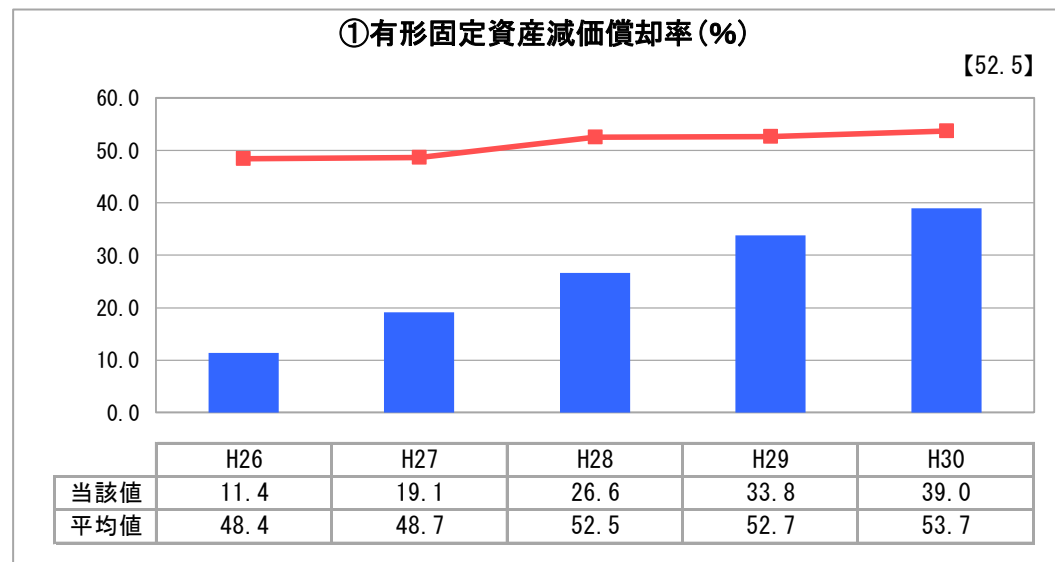
公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成25年度	-年度	-年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

地域の基幹病院として急性期医療(ER救急、小児救急、急性期心疾患、周産期)を担うとともに、専門的で高度な医療の提供を行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

開院以降、患者数の増加及び入院・外来単価の向上により医業収益が増加している。費用面では医業収益に対する材料費の割合は、類似病院の平均値よりも高くなっているが、単価引き下げに努めており、職員給与費の割合も年々改善し、類似病院の平均値よりも低く抑えられた。その結果、経常収支、総収支ともに3年連続の黒字となり、経常収支比率、医業収支比率は年々上昇しており、また、累積欠損金比率は改善されている。

2. 老朽化の状況について

開院から4年半が経過し、有形固定資産減価償却率は年々増加している。開院時に取得した器械備品は、償却期間満了が近づいており、器械備品減価償却率は類似病院平均値とほぼ同様の数値となってきた。また、1床当たりの有形固定資産額は年々増加しているが、類似病院の平均値よりも低い状況にある。

全体総括

平成30年度は、医療サービスの質的向上を図り、安全安心な医療の提供と患者満足度を高めるとともに、収益確保や経費節減に努めた結果、3年連続で経常収支、総収支ともに黒字となった。今後も、看護師をはじめ医療スタッフの確保を引き続き進め、全病棟フル稼働を目指し、平成30年12月に改定を行った病院改革プラン数値目標をもとに一層の収支改善、経営安定に取り組んでいく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。